

第7章 模擬試験

1 筆記試験問題（試験時間 60 分）

出題は新しい正書法（単語のつづり方などに関する規則）に従います。解答は新旧いずれの方式でも認めます。

- 1 次の(1)～(4)の条件に当てはまるものが各組に1つずつあります。それを下の1～4から選びなさい。

(1) 下線部の発音が他のものと異なる。

1 Geburtstag 2 Bestellung 3 Hauptstadt 4 Bleistift

(2) 下線部にアクセント（強勢）がない。

1 bewölkt 2 Bezahlung 3 Bäckerei 4 beliebt

(3) 下線部が短く発音される。

1 Hose 2 Flöte 3 Nase 4 Kamera

(4) 問Aに対する答えBの下線の語のうち、通常最も強調して発音される。

A : Möchtest du auch eine Zigarette?

B : Nein danke, ich rauche doch nicht mehr.

1 rauche 2 doch 3 nicht 4 mehr

- 2 次の(1)～(4)の文で（ ）の中に入れるのに最も適切なものを下の1～4から選びなさい。

(1) Bitte kommen Sie morgen zu mir, dann können wir（ ）alles sprechen!

1 auf 2 über 3 für 4 von

(2) A : Haben das Essen und der Wein geschmeckt?

B : Danke, wir sind（ ）allem zufrieden!

1 mit 2 durch 3 an 4 über

3 模擬試験解答

筆記試験

1

(1) 1

この問題は st の発音の問題。St を [ʃ]、「シュ」と発音するのは頭音の場合のみ。次の語は複合名詞で、元の語が st で始まる Bestellung=be + stellen, Hauptstadt= Haupt + Stadt, Bleistift=Blei + Stift。しかし、Geburtstag は Geburt + Tag で、その間に所有関係を表す s が入るだけなので、「シュ」と発音されない。

(2) 3

ゲルマン語由来の語はアクセントが1節目にあるが、接頭辞がついている場合はアクセントは元の語の1節目のまま残る。次の語は接頭辞がついている。bewölken=be + wölken (wölken は死語), bezahlen=be + zahlen, beliebt=be + lieben (belieben は死語)。Bäckerei は Bäcker と「場所」を意味する -ei がついているので、アクセントは1節目と3節目にある。

(3) 4

長音が短音かの問題。ゲルマン語由来の語は子音が1つしかない場合はその前の母音が長く、2つ以上の場合は短くなるが、ラテン語由来の語はそのルールが当てはまらず、長く発音されるのは、最後の母音くらいしかない (Kamera 「カメラ」)。

(4) 1

質疑応答の答えの中で最も強調して発音される語を決める問題。質問でタバコ Zigarette を勧められているが、rauchen 「タバコを吸うこと」を止めたので rauchen を強調して答えるのが普通。Doch は「やはり」、この場合「相手も知っているはず」というニュアンス。

2

(1) 2 明日、私のところにお越しく下さい、そのときにすべてについて話しましょう

Sprechen は前置詞 über を伴い、「～について話す」。Sprechen von も「～について話す」との意味だが、von は3格を伴うが、ここの alles は4格。そし

て、sprechen über はより深く「～を議論する」のに対し、sprechen von はただ「～について話をする」、「お喋りをする」。

また、sprechen für もあるが、それは「人に代わって話す」、つまり「弁護する」という意味。

(2) 1 お食事とワインの味はいかがでしたか？はい、とても満足しています

Zufrieden は常に mit と一緒に使われる、「～で満足している」。

(3) 4 でも隣の人はあの大きな犬を飼っているじゃない！犬が怖いもの！

Angst haben vor～（3格）は「～が怖い」、Angst haben um～（4格）は「～のことを心配する」。Angst haben wegen～（2・3格）「～で不安を感じる」もあるが、通常この場合はより複雑な理由が続く。「A が怖い」は ich habe Angst vor A。

(4) 2

映画は最後どうなったの？ハッピーエンドだったよ、男と女が最後にやっぱり結婚した

この場合は映画のラストシーンの意味だが、常に am Ende という。Zum Ende もあるが、それは「終わりに向かって」との意味で、よく zum Ende hin という形で「最後らへん」の意味合いで使われる。